

作成日 2010年10月1日  
改訂日 2024年4月1日(8版)

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

製品名 ルミパルスシステム用 ソーダライム  
製品コード 301166  
会社名 富士レビオ株式会社  
住所 東京都港区赤坂 1-8-1  
担当部署 お客様コールセンター  
電話番号 0120-292-832  
緊急連絡電話番号 0120-292-832  
推奨用途と使用上の制限 医療機器で使用する二酸化炭素吸収剤

### 2. 危険有害性の要約

成分(危険有害物質): 水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム

#### GHS分類

健康に対する有害性: 皮膚腐食性・刺激性:	区分1
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性:	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	区分1(呼吸器)
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分2(呼吸器)

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語: 危険  
危険有害性情報: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
臓器(呼吸器)の障害  
長期にわたる、または反復ばく露による臓器(呼吸器)の障害のおそれ

注意書き: 【安全対策】 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
【応急措置】 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。  
汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その

後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合、吸入した場合、皮膚に付着した場合または眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。

**【廃棄】** 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： ソーダ石灰（水酸化カルシウムを主成分とする水酸化ナトリウム、水酸化カリウムとの混合物）

別名： ソーダライム

成分及び含有量

成分（危険有害物質）：水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム

化学特性（化学式等）： $\text{Ca}(\text{OH})_2$ ,  $\text{NaOH}$ ,  $\text{KOH}$ ,  $\text{H}_2\text{O}$

分子量：  $\text{Ca}(\text{OH})_2=74.09$ ,  $\text{NaOH}=40.00$ ,  $\text{KOH}=56.11$ ,  $\text{H}_2\text{O}=18.02$

C A S R N： 8006-28-8

濃度又は濃度範囲： 水酸化カルシウム(80～85%)、水酸化ナトリウム(1～5%)、  
水酸化カリウム(1～5%)

官報公示整理番号（化審法）：(1)-181、(1)-410、(1)-369

### 4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。皮膚を多量の水で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
医師の診察/手当を受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

### 5. 火災時の措置

消火剤： 二酸化炭素、粉末または乾燥砂。  
周辺の条件に適した消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災時の特有危険有害性： 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法： 情報なし

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。関係者以外は近づけない。適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

適切な保護手袋と保護眼鏡を付けて処理する。漏えい物は密閉できる廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。  
酸類との接触を避ける。眼および皮膚への接触を避ける。  
局所排気・全体換気： 十分な換気ができる場所で取扱う。
- 安全取扱い注意事項： 取扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
眼、皮膚、衣類に付けないこと。  
容器を転倒させ落下させ衝撃を与える等の粗暴な扱いをしない。  
漏れ、溢れ、飛散などしないようにする。
- 適切な衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

- 適切な保管条件： 2～30℃  
容器は乾燥した場所に貯蔵し、密閉して、空気との接触を避ける。
- 技術的対策： 特になし
- 混色禁止物質： アルカリ性なので、酸性の製品とは同一場所に貯蔵しないこと。
- 安全な容器包装材料： ガラス、ポリエチレン

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

含有している成分（水酸化カルシウム、水酸化カリウム、水酸化ナトリウム）で以下の情報が報告されている。

管理濃度

- 水酸化カルシウム： 設定されていない。  
水酸化カリウム： 設定されていない。  
水酸化ナトリウム： 設定されていない。

許容濃度

- 水酸化カルシウム  
日本産業衛生学会（2022年度版）： 設定されていない。  
ACGIH（2006年度版）： TLV-TWA 5mg/m<sup>3</sup>
- 水酸化カリウム  
日本産業衛生学会（2022年度版）： 2mg/m<sup>3</sup>（最大許容濃度）  
ACGIH（2017年度版）： TLV-Ceiling limit 2mg/m<sup>3</sup>
- 水酸化ナトリウム  
日本産業衛生学会（2022年度版）： 2mg/m<sup>3</sup>（最大許容濃度）

ACGIH (2009年度版) : STEL (C) 2mg/m<sup>3</sup>

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防じんマスク、簡易防じんマスク
- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼及び/又は顔面の保護具 : 適切な保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粒状
色	白色～わずかに薄い褐色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	水浸液は強塩基性
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 空气中で湿気及び炭酸ガスなどの酸性ガスを吸収する。
- 危険有害反応可能性 : データなし
- 避けるべき条件 : 高温、日光、熱、酸、湿気
- 混触危険物質 : 強酸
- 危険有害な分解生成物 : 金属酸化物

11. 有害性情報

- (成分 (危険有害物質) : 水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム)
- 急性毒性 : 水酸化カルシウム(含有量 80-85%)、水酸化ナトリウム(含有量 1-5%)、水酸化カリウム(含有量 1-5%) より区分に該当しない。
- 皮膚腐食性・刺激性 : 区分 1 である水酸化カリウムおよび水酸化ナトリウムがそれぞれ 1~5%含まれることから区分 1 に分類される。  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 (区分 1)
- 眼に対する重篤な損傷性・刺激性 : 区分 1 である水酸化カルシウムが 80~85%、水酸化カリウムおよび水酸化ナトリウムがそれぞれ 1~5%含まれることから区分 1 に分類される。

重篤な眼の損傷（区分1）

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

情報がなく分類できない。

生殖細胞変異原性： 情報がなく分類できない。

発がん性： 情報がなく分類できない。

生殖毒性： 情報がなく分類できない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

区分1である水酸化カルシウムが80～85%、水酸化カリウムおよび水酸化ナトリウムがそれぞれ1～5%含まれることから区分1に分類される。

呼吸器の障害（区分1）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

区分1である水酸化カリウムが1～5%含まれることから区分2に分類される。

長期にわたる、または反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ（区分2）

誤えん有害性： 情報がなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

成分（危険有害物質）：水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム  
生態毒性

水生環境有害性、短期(急性)：水酸化ナトリウムは甲殻類（ネコゼミジンコ）で48時間LC<sub>50</sub>=40 mg/Lより区分3であり、含有量1～5%より区分に該当しないが、水酸化カルシウムと水酸化カリウムは情報がないため分類できない。

水生環境有害性、長期(慢性)：水酸化ナトリウムは区分に該当しないが、水酸化カルシウムと水酸化カリウムは情報がないため分類できない。

残留性・分解性： 情報なし

生物蓄積性： 情報なし

土壤中の移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 情報がなく分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 容器に入ったまま廃棄する。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従う。都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

汚染容器及び包装： 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従う。都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号： 1907

品名： ソーダ石灰

国連分類： クラス 8（腐食性物質）

容器等級： PG III

海洋汚染物質： 非該当

注意事項

輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

#### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法：

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(法第57条・第57条の2、施行令第18条・第18条の2別表第9)

政令番号第317号(水酸化カルシウム)、政令番号319号(水酸化ナトリウム)、政令番号316号(水酸化カリウム) 本製品は労働安全衛生法表示・通知対象物質である。

労働安全衛生規則第594条の2、皮膚等障害化学物質等に該当する(水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム)。

毒物及び劇物取締法：

劇物 指定令第2条第68号(水酸化ナトリウム) 本製品での含有量が5%以下のため該当しない。

劇物 指定令第2条第65号(水酸化カリウム) 本製品での含有量が5%以下のため該当しない。

化学物質排出把握管理促進法： 該当せず。

#### 1 6. その他の情報

主な引用文献

職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>

NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)

[https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip\\_search/systemTop](https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

富士フイルム和光純薬株式会社

ソーダ石灰 安全データシート W01W0119-1052 JGHE JP(7.03版)

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。